



JSBMR Newsletter No. 1

日本骨代謝学会 / The Japanese Society for Bone and Mineral Research

〒560-0082 豊中市新千里東町 1-4-2 千里 LC ビル 14 階 (財)日本学会事務センター大阪事務所内
TEL: 06-6873-2301 FAX: 06-6873-2300 E-mail: jsbmr@bcasj.or.jp <http://edpex104.bcasj.or.jp/jsbmr/>

1st Joint Meeting of IBMS-JSBMR 開催報告

国際骨代謝学会(IBMS)・日本骨代謝学会(JSBMR)第 1 回合同国際会議

1st Joint Meeting of IBMS and JSBMR 2003

会期：2003 年 6 月 3 日(火)～6 月 7 日(土)

会場：大阪国際会議場

【重要】次回の日本骨代謝学会は IBMS-JSBMR の合同会議として開催いたします。会員の皆様の中で日本語での発表を希望される方は、Japan Day (6 月 5 日) に演題をご発表ください。

演題登録締切

(英文発表) 11 月 29 日(金)

(和文発表) 1 月 6 日(月)

いずれも web 上での登録となります。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.IBMS-JSBMR2003.org>

Japan Day への演題登録：<http://> (UMIN、未定)

事前参加登録 (3 月 14 日まで)

IBMS または JSBMR 会員 40,000 円

非会員 55,000 円

学生 12,000 円

申込み URL <http://www.IBMS-JSBMR2003.org>

お問い合わせ先

IBMS-JSBMR2003 運営事務局

(日本コンベンションサービス株式会社内)

tel : 06-6221-5933 fax : 06-6221-5939

E-mail : ibms@convention.jp

2002 年度 日本骨代謝学会 会務報告

(2002 年 4 月～7 月末)

・ 学術大会

第 20 回日本骨代謝学会学術大会：

大会長 福永 仁夫 教授 (川崎医科大学)

平成 14 年 7 月 25 日(木)・26 日(金)・27 日(土)

の 3 日間にわたり、岡山コンベンションセンターにおいて開催され、盛会裡に終了した。

・ 役員会ならびに総会等

1) 理事会

【2002 年度第 1 回理事会議事録】

日時：2002 年 5 月 19 日(日) 17:00～18:10

会場：千里朝日阪急ビル 14 階 3 号会議室

出席者：

清野佳紀 (理事長)、山口 朗 (副理事長)、板橋 明、遠藤直人、川島博行、高岡邦夫、滝川正春、中村利孝、西沢良記、松本俊夫、乗松尋道 (監事)

同席者：

鈴木不二男 (学会誌編集長)、福永仁夫 (第 20 回学会会長)、山元理恵、轟 豊語 (事務局；学会センター関西)

議 事：

2001 年度第 4 回理事会議事録の承認（清野理事長）
2001 年 3 月 1 日に行われた 2001 年度第 4 回理事会議事録案が提出され、承認された。

< 報告事項 >

1. 第 20 回日本骨代謝学会準備状況（福永第 20 回会長）
資料として抄録集の前付け部分が配布され、会場配置、日程等が報告された。また、会期中に開催される理事会、評議員会、各種委員会等の日程と会場が示され、了承された。
2. 学術賞・奨励賞等の選考について（福永第 20 回会長）
福永委員長より、理事会に先だって開催された選考委員会の結果が報告された。

3. 各種委員会報告

1) 骨粗鬆症 QOL 評価検討委員会（遠藤理事）
4 月 15 日に東京で開催された委員会の討議内容が報告された。骨折を中心にプロトコルを設定することを検討し、鈴木委員に再度の取りまとめを依頼したこと、また今後の運用に伴ういくらかの費用の負担を学会に求めたい旨が説明された。（次回委員会は 6 月 3 日に東京で開催の予定）

2) あり方委員会（高岡理事）
理事会に先だって開催されたあり方委員会の審議の内容が、下記の通り報告された。

理事長の任期について
現行の「1 期 2 年、再任を認めず」という慣例は実情に合わないため、再任は妨げない方向で検討を進めることになった。また、それに伴い、これまで外科系・内科系・基礎系から順番に理事長を選出していたが、領域にとらわれずにその時期に最適と思われる理事を互選によって理事長に選出することが提案された。

学会の開催地の固定化について
地方都市で開催される学会では、多くの参加者が望めないため、原則として開催場所を東京と大阪の 2 箇所に固定することが確認された。

EBM の確立と疫学分野の研究者の育成について
日本における骨代謝や骨粗鬆症の分野の Evidence を作る作業を行う必要があるが、そのためにも疫学分野の研究者の入会を勧誘し、専門家にあり方委員会やプログラム委員会のメンバーに加わっていただくとともに、奨励賞の対象部門に「臨床疫学」を加え、若手研究者の育成を目指すことが検討された。

学会費の支払いについて
会費の支払い方法について審議され、納入率向上のためにクレジットカードによる支払いが提案されたが、入金にあたってはカード会社に手数料 5% を支払う必要があることから、学会の収入が減少することになるため、国内の会員には適用せず、海外の会員に対して適用する方向が示された。なお、国内の会員用には、口座自動引落が行われているが、200 名（8%）程度の普及に留まっている状況であることも確認された。

UMIN システムの活用による合理化について
今年度の第 20 回学会において初めて導入された

UMIN による演題受付方法を、今後も継承することが確認された。また、学会抄録のオンライン公開、UMIN を活用したメーリングリストによるニュースレター配信の自動化等について、今後の検討課題とすることが提案された。

なお、学会誌 JBMM の Referee System や発行後のオンライン公開についても提案されたが、Referee 段階では、投稿数が少なくても必要な段階ではないこと、発行後は Springer 社によって公開されていること等が確認された。

学会誌 JBMM の科学研究費の申請について
JBMM に対する補助金として、日本学術振興会の科学研究費（研究成果公開促進費・学術定期刊行物）に申請することが提案された。

3) 第 21 回日本骨代謝学会プログラム委員会（山口理事）
去る 3 月 1 日に開催された第 1 回プログラム委員会における審議内要が議事録に基づいて報告され、確認が行われた。

4) 広報委員会（遠藤理事）
ホームページの変更点についての説明があり、出席者にテスト用の URL による内容の確認が依頼された。

< 審議事項 >

1. 第 21 回日本骨代謝学会ならびに JBMS について（山口理事）
提案されたワークショップのテーマ候補については、各自で検討の上、意見をメールにて寄せることとした。

2. 新評議員の推薦について（清野理事長）
堀内敏行氏、今西康雄氏、後藤仁志氏、五来逸雄氏の 4 名の評議員推薦について説明があり、いずれも承認された。

3. 第 22 回学会の会長（2004 年）の選任について
2004 年に開催される第 22 回学会の会長を、乗松尋道（香川医科大学整形外科）監事に依頼することとした。なお、会期は 2004 年 7 月または 8 月上旬（水曜日準備、木曜日～土曜日）とし、開催場所は大阪国際会議場とする方向で検討することになった。

今回の理事会は、第 20 回学会の前日となる 7 月 24 日（水）17:00～19:00 に、岡山コンベンションセンター 4 階で開催することとした。

【2002 年度第 2 回理事会議事録】

日時：2002 年 7 月 24 日（水）17:00～19:00
会場：岡山コンベンションセンター 4 階 小会議室 1

出席者：
清野佳紀（理事長）、山口 朗（副理事長）、板橋 明、遠藤直人、太田博明、川島博行、高岡邦夫、滝川正春、中村利孝、西沢良記、松本俊夫、米田俊之、須田立雄（監事）、乗松尋道（監事）

同席者：
鈴木不二男（学会誌編集長）、福永仁夫（第 20 回学会会長）、田中弘之（岡山大学大学院医歯学総合研究科小児医科学）、山元理恵、轟 豊語（事務局；学会センター関西）

議 事：

2002 年度第 1 回理事会議事録の承認（清野理事長）
2002 年 5 月 19 日に行われた 2002 年度第 1 回理事会議事録案が提出され、承認された。

< 報告事項 >

1. 2001 年度事業および庶務報告（中村理事）
中村理事より、2001 年に行われた第 19 回学会および理事会・各種委員会の開催状況が報告された。また、2002 年 6 月末現在の役員数・会員数、ならびに会費納入状況が報告され、会費納入率向上のための協力が要請された。
2. 2002 年度会計中間報告（松本理事）
2002 年度 6 月末現在の会計状況が報告された。

3. 各種委員会報告

1) あり方委員会（高岡理事）

理事会に先だって開催されたあり方委員会の審議の内容が、下記の通り報告された。

学会の活性化について

若手研究者の参加を増やす方法として、学術集會時に基礎分野の他学会と合同でシンポジウムを開催すること、シンポジウムの企画そのものを公募方式にすること、教育的なプログラムを充実させること等が提案された。

また、国際化を推進するために、英文のタイトルとアブストラクトをホームページに掲載して、海外からもアクセスできるようにすることが提案され、まずは来年の演題募集の時からタイトル・著者名・所属・キーワードを英語で収集する方向で検討することとなった。

学会名称について

学会名称の中の「代謝」という言葉が、必ずしも実態を反映しなくなってきたため、学会のイメージを向上させる意味でも、学会名称の変更も視野に入れて、今後引き続き審議することとなった。

疫学分野の奨励賞について

今回の委員会では審議できなかったため、各委員からメールで意見を募り、次回の委員会で検討することとなった。

2) プログラム委員会（山口次期会長）

山口次期会長より、6 月 5 日の Japan Day のスケジュールについて、現時点での決定事項が報告された。ワークショップを 3 つ企画しており、それと並行してサテライトシンポジウムを開催すること等が説明された。

また、演題の受付と抄録集の作成については、IBMS とは別に事務局で行うが、今回よりタイトル・氏名・所属を英文併記で登録してもらうこととし、演題の締切は 2 月末頃を予定していることが報告された（IBMS の演題締切は 11 月末）。

なお、6 月 5 日の Japan Day の 1 日のみが第 21 回学術集會であると誤解されがちであるため、あくまでも IBMS との Joint Meeting であることがわかるような会合の正式名称の決定を、清野理事長、松本理事、山口理事の 3 名に一任することが決定された。現時点では、6 月 2 日～7 日の会期全体を 1st Joint Meeting of IBMS-JSBMR に対して、6 月 5 日を 1st

Joint Meeting of IBMS-JSBMR Japan Day とすることが適当だろうという理事長の意見があった。

3) 学術賞・奨励賞選考委員会（福永委員長）

5 月 19 日に行われた選考委員会において選出された 8 名（特別賞 1 名、学術賞 4 名、奨励賞 3 名）に対して、7 月 26 日に表彰式を行う予定であることが報告された。

4) IBMS-JSBMR Joint Meeting 2003 準備状況（松本理事）

Congress Chairman である松本理事より、会議のスケジュールおよび参加費について報告があった。official banquet を 4 日の夜に開催すること、日本的な演出を行うために太閤園で 5 日の夜に Japan night を行うこと等が報告された。事前登録による会員の参加費は 40,000 円、非会員は 55,000 円、学生は 12,000 円を予定しており、他の国際会議と比べてもかなり安価に抑えたため、できるだけ多くの参加者を募るよう協力が要請された。

また、近々、会員に向けて preliminary program を含む first circular を発送する予定であることが報告された。

5) 学会誌編集委員会（鈴木編集委員長）

鈴木編集委員長より、JBMM Vol.20, No.4 がまもなく会員向けに発送されることが報告された。また、あり方委員会で検討されていた科学研究費の申請、および広告募集については、具体的に対応を進める方針であり、掲載広告については原則的に英語版下の提供を求め、年間契約で募集することが確認された（広告料は 40,000～60,000 円）。

なお、2001 年度の Impact factor が発表され、前年度の 0.926 より 1.220 にアップした結果、国内の英文誌の中で 16 位になったことが報告された。

6) ステロイド骨粗鬆症診断基準検討委員会

（西沢理事・福永副委員長）

26 日に委員会を開催し、27 日のワークショップに備える予定であることが報告された。

7) 骨粗鬆症 QOL 評価検討委員会（遠藤理事）

6 月 3 日、および理事会開催前に行われた委員会の討議内容が報告された。2000 年度版の評価表の妥当性を見極めるために、2003 年度より 2,000 例ほどを対象とする大規模前向き研究を実施する予定であり、その担当組織・研究費用の受皿として NPO を検討していることが報告された。

また、大規模前向き研究の実施を周知させるため、今学会の評議員会・総会において説明を行う予定であることも報告された。

8) 広報委員会（遠藤理事）

学会ホームページを 7 月 1 日より再開したこと、掲載内容の更新やリンク先の追加については、できるだけ随時対応することとし、各理事に情報の提供が要請された。

なお、会員のメールアドレスを収集するために今学会会場で登録用紙を配付すること、また、ニューズレターの発行については、26 日に開催する学会誌編集委員会との合同委員会において検討する予定であることが報告された。

4. 第 22 回日本骨代謝学会について（乗松第 22 回会長）

2004 年度の学会を 8 月 5 日（木）～7 日（土）に、大阪国際会議場において開催する予定であることが報

告された（理事会は 4 日に開催予定）。

< 審議事項 >

1. 2001 年度収支決算ならびに監査について（須田監事）
須田監事より、6 月 3 日に前事務局の口腔保健協会において会計監査を行った結果、適正に会計処理が行われていることを確認した旨が報告され、評議員会・総会において承認を求めることになった。
2. 2002 年度予算案について（松本理事）
骨形態計測学会からの編集費用の分担金が入金されていないことが指摘され、2001 年度および 2002 年度の 2 年分（50 万円×2 年分 = 100 万円）を請求し、予算の歳入の部に加えることが承認された。
また、2003 年度の学術集会は IBMS との共催になるため、例年、開催担当校に送金している学術集会補助金（200 万円 + Travel Award 補助金 30 万円 = 230 万円）を支出しないことが承認された。
3. 学会ホームページについて（遠藤理事）
今後、ニュースレターを始めとする学会情報をホームページに掲載し、内容を充実させていく方針が確認された。
4. ニュースレターについて（川島理事）
会員に対してメールアドレスの登録を促すためにも、ニュースレターの 1 号目は印刷したものを発行し、なるべく早い時期にメール配付に切り替えられるように検討することが確認された。
5. 将来の会費改定について（清野理事長）
2002 年度の予算案では、単年度の収支がプラスに転じることが期待されるため、しばらくは様子を見て、必要があればその時に会費の値上げについて再検討することになった。
6. IBMS からの提案について（清野理事長）
IBMS より、日本骨代謝学会（JSBMR）で IBMS と JSBMR の会費を一緒に徴収すれば、IBMS の会費を割り引くことが可能であるため、学会としての対応を検討してほしいとの依頼があった。審議の結果、現時点では IBMS に加入していない会員にとっては会費の負担増となるため、今回の申し入れは断ることを決定した。
7. 第 23 回（2005 年）学会会長について（清野理事長）
第 23 回会長に、内科系の西沢理事（大阪市立大学大学院・代謝内分泌病態内科学）が推薦され、承認された。
8. 新評議員の推薦について（清野理事長）
2001 年度第 3 回理事会（1 名）、2002 年度第 1 回理事会（4 名）で承認された 5 名に加えて、新たに 4 名の評議員候補者が承認され、以下の 9 名について、明日の評議員会および明後日の総会において承認を求めることが報告された。
金谷政則氏（国民健康保険波賀町診療所）
推薦者：千原和夫氏、杉本利嗣氏
堀内敏行氏（東京都老人医療センター）

- 推薦者：細井孝之氏、折茂 肇氏
今西康雄氏（大阪市立大学大学院医学研究科）
推薦者：西沢良記氏、稲葉雅章氏
後藤仁志氏（大阪市立大学大学院医学研究科）
推薦者：西沢良記氏、稲葉雅章氏
五来逸雄氏（横浜市立大学医学部産婦人科学）
推薦者：白木正孝氏、太田博明氏
萩野 浩氏（鳥取大学医学部附属病院）
推薦者：中村利孝氏、豊島良太氏
道上敏美氏（大阪府立母子保健総合医療センター）
推薦者：山本威久氏、大園恵一氏
川口 浩氏（東京大学医学部整形外科）
推薦者：織田弘美氏、井上 聡氏
山中良孝氏（岡山大学医学部附属病院）
推薦者：清野佳紀氏、田中弘之氏

9. 会則の一部変更について（清野理事長）
事務局移転に伴い、会則の一部を下記のように変更することが承認された。

改正前（現行）

- 第 1 章 総 則
第 2 条 本会は、事務局住所を〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル3Fとする。

改正後

- 第 1 章 総 則
第 2 条 本会は、事務局住所を〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル 14F（財）日本学会事務センター大阪事務所内とする。

- 2) 評議員会
2002 年 7 月 25 日（木）、岡山コンベンションセンターにおいて評議員会が開催され、前日の理事会において報告・審議された事項が承認された。
- 3) 総 会
2002 年 7 月 26 日（金）、岡山コンベンションセンターにおいて総会が開催され、前々日の理事会および前日の評議員会において報告・審議された事項が承認された。

各委員会からのお知らせ

日本骨代謝学会会員の方々へ

鈴木不二男
JBMM 編集委員長

会員の方々には JBMM への御投稿および査読等で御協力を頂き、感謝致しております。お陰様で、最近は何国からの投稿も増えつつあり、また JBMM の Impact factor も 2000 年度の 0.926 から 2001 年には 1.220 へと上昇致しました。今後は、原著の御投稿に加えて JBMM に掲載された論文を可能な限り引用して頂くようお願い致します。

特別賞、学術賞、奨励賞受賞者の方々へお願い

御受賞おめでとうございます。本年度から奨励賞受賞者に加えて学会賞（特別賞）および学術賞受賞者にも JBMM に Review または Mini-review を執筆して頂くことが理事会で決定致しました。Vol. 21 (1) (2003) から原稿の到着順に掲載する予定ですので、受賞者各位におかれては、本年末を目処に原稿をお送り頂けるように御準備下さい。

会員の皆様へ

広報委員長 遠藤 直人

この度、初めてのニュースレターを発行することになりました。今年度より和文誌が廃刊となりましたので、これまで和文誌に掲載されておりました会告部分に代わるものとして、今後定期的に発行したいと考えております。なお今回、全文はホームページ掲載とし、会員の皆様のお手元には、ダイジェスト版のみをお届けしております。将来的には、郵便コスト削減のためにも、ニュースレター発行のお知らせを、電子メールを用いて配信したいと考えております。

今年の 7 月に開催されました学術大会において、メールアドレスの登録をお願いしておりましたが、現時点での登録数は未だ 300 件に達していません。まだ登録されていない方は、是非とも事務局までメールアドレスをお知らせくださいますようお願いいたします。

今後とも、会員の皆様に有益な情報をお届けできるように努めてまいりたいと思いますので、何なりとご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

メールアドレスの連絡先 jsbmr@bcasj.or.jp